

障害のある人と援助者でつくる
日本グループホーム学会

第12回 日本グループホーム学会

全国大会 in 京都

開催要綱

【大会開催趣旨】

障がいのある方の地域生活に、グループホームは大切な役割を担ってきました。入居される方々も9万人を数えるようになりました。一方で入居される方々の高齢化や重度化への対応が急務とされています。まさに多様な課題に直面している今こそ、当事者の声大切にされる居場所を広げていく必要があるといえるでしょう。夏本番のはじまりを告げる祇園囃子の京都で、“あつい” 出会いの場となることを期待して、皆様のお越しをお待ちしています。

【開催概要】

- *主催 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会
- *共催 日本グループホーム学会 全国大会 in 京都 実行委員会
- *後援 (予定) 京都府 京都市 社福) 京都府社会福祉協議会 社福) 京都市社会福祉協議会

*日程：2015年 **7月11日(土)~7月12日(日)**

※6月12日 申込〆切

*定員：800人

*大会参加費：会員5,000円 非会員8,000円

※入居者大集合『ポスターセッション』に参加の方 500円

※1日目オプションツアーは別途料金

*会場：京都府民総合交流プラザ「**京都テルサ**」西館 **テルサホール** 他

住所 京都市南区東九条下殿田70番地

※JR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約15分

※近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分

※市営地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分

*懇親会：会費6,500円(希望者予約制)

会場 **メルパルク京都**(京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676)

※JR京都駅(烏丸中央口)より徒歩約1分

プログラム(1日目)

7月11日(土) 会場:西館 テルサホール

12:00~13:00 受付
13:00~13:10 オープニング
13:10~14:10 講演1「シェアハウスという発想(仮題)」
(60分) 講師 丁 志映(チョンジョン)氏(千葉大学)

個室で暮らす、キッチンやリビングなどは共用というシェアハウスが、注目されるようになりました。深くもなく浅くもないという人間関係が若い世代のスタイルとしてマスコミにも取り上げられています。我々の学会も「分かち合う暮らしのあり方」には、以前から関心をもってきました。〔丁 志映・様々な人々が混ざり住む「シェア居住」-安心感と人間同士の触れ合いを求めて-, 日本グループホーム学会季刊誌 No.22 掲載 (2009.9)〕

障がいのある方の地域生活でいえば、グループホームは大切な役割を担ってきたと言えます。しかし一方で、消防法の改正や建築基準法の見直しに伴い新規開設の条件が厳しくなったり、定員規模が20名以上の共同生活住居が出現したりと、課題も大きくなっています。「当たり前地域で暮らす」ことが狭くされているような現状だけに、単にグループホームか1人暮らししかだけでなく、もう一つの発想・選択肢として、改めてシェアハウスに着目してみてもはどうでしょう。「障がいある方とない方の様々な住まい事例」を追ってこられた丁さんから、「つながりのある住まい」という実践の報告を伺い、そこに学ぶことで何らかのヒントを得ていただくと考えます。

14:15~15:05 講演2とシンポジウム
(50分) 「暮らしに関わる“わたし”の思いと意思決定支援のあり方(仮題)」

講演2「私のウチとしてのホーム」

講師 鈴木 良氏(琉球大学)

<休憩 20分>

15:25~16:25 シンポジウム
(60分) コーディネーター 佐野 和明氏(グループホーム学会運営委員)
シンポジスト
※調整中(グループホームに入居されるご本人1~2名)
※調整中(重い障がいがある方の支援をされているスタッフ)
助言者 鈴木 良氏(琉球大学)

「意思決定支援」という言葉は、ご本人がどこで誰と住むかといった人生の大きな岐路にあたる決定から、今日は何を着て、どこへ行き、何を食べるかといったごくありふれた日常の決定まで、幅広い概念を指して使われています。後者の場合、ご本人が経験を重ねていかれてよりよい選択をされるよう援助していくのが支援者の役割であり、そのためにご本人の言葉に隠された気持ちや行動の意味を汲み取ることが求められます。また前者のような重大な決定はお試しが何度もきかないために、本人が信頼できる人に助けをもらったり相談支援などの役割が大きくなっていくでしょう。

この「意思決定支援」なる用語が使われ出したのは、障害者権利条約を日本が批准し発効される2012年～2014年頃からでしょうか。同条約第12条では、知的障害・精神障害・認知症等の精神上的の障害者の法的能力行使への支援として、「意思決定支援」を国に義務づけています。わが国でも、障害者総合支援法の施行3年後の見直しに向けて、障害者部会にワーキングチームが設置され、5項目ある論点の1つに意思決定支援があげられています。

いずれにしても、奥が深いテーマでありこれからのトピックになるのが、この意思決定支援だと言えます。

そこで今回はプログラムのなかでは、日課・飲食・外出に関わる決定が、ご本人と世話人・職員との間のいかなる関係の中でされているかに着目してみたいと思います。それは世話人・職員がご本人の生活を左右する大きな環境要因の一つであるからです。（鈴木 良氏による講演を予定）さらに入居されるご本人の実体験から「どのようなとき自分の思いが伝えられるか」「願いが叶うとはどのようなことか」「意思決定をどんな人に手伝ってもらいたいのか」などを伺い、また支援者の立場からはご本人の思いを汲み取るとはどういったことかを探っていただきたいと思います。（シンポジウムの登壇者が未定のため展開は未定）

「意思決定支援」を巡るテーマを、例えばご本人の要望と健康管理・金銭管理の間で、例えば老いゆく不安の中で、様々な場面を想定しながら考え合うことに意味があるのではないのでしょうか。そこには本人もゆらぎながら、支援者も葛藤を伴いながら、しかし寄り添いながら暮らしをつくっていく営みがあるように思います。ご本人が地域のなかでどれだけ色んな人とつながり絡まりながら生活をされているか、そこに紡ぎ出される暮らしぶりは果たしてその人の色になっているか。意思決定支援とは「その人らしい人生の物語を完成していく」歩みのようなものかなといったイメージにたどり着くことになるのかも知れません。その辺りはシンポジウムの本番のお楽しみにしておきたいと思います。

<休憩 5分>

16:30～17:30
(60分)

パネルディスカッション

「スタッフの確保と育成について考える」

～支援の困難性を有する人たちの支援のために～

パネラー 木村 昭一氏 （北海道・はるにれの里）

パネラー 坪倉 正史氏 （京都・ハートフルトポス）

聞き手 中西 昌哉 （グループホーム学会運営委員）

いま、人材難は深刻です。求人を出しても応募者が集まらず、結局、現場の職員にしわ寄せが集まる状態が、あちこちのグループホームでも見られるのではないのでしょうか。スタッフ確保のため、どのような苦労やまたアイデアがあるのでしょうか。お二人のパネラーに伺ってみたいと思います。

夜勤の業務は、一人職場がほとんどで新任の職員が業務を憶えるまでには様々な配慮がなされています。とりわけ、行動障がいのある方など支援の困難性を有する人たちへの対応となると、スタッフにも経験や研修が求められてきます。

それぞれの事業所では、どのような職員育成を考えておられるのでしょうか。採用から研修へ、スタッフが働き続けて成長出来る職場環境のあり方について、話題を提供することで、参加者も取り組めそうなヒントや新しい発想を持っていただけたらと願います。

<移動 60分>

18:30～20:30 懇親会（会場：メルパルク京都）

プログラム(2日目)

7月12日(日)

Aプログラム にゅうきょしゃだいしゅうごう 入居者大集合「ポスターセッションをやろう！」

かいじょう ひがしかん2 かい 会場：東館2階 しつ セミナー室

8:30～ 9:00	<small>うけ つけ</small> 受付
9:00～10:00	<small>じゅんび じかん</small> 準備の時間
10:00～10:20	はじまりのゲーム
10:20～10:50	ポスター発表 ① <small>はっぴょう</small>
10:50～11:00	休憩 10分 <small>きゅう けい ぶん</small>
11:00～11:45	ポスター発表 ② <small>はっぴょう</small>
11:45～12:10	まとめの時間 <small>じかん</small>
12:10～12:15	その他連絡など・入居者大集合 終了 <small>その た れんらく にゅうきょしゃだいしゅうごう しゅうりょう</small>

【ポスター作成・発表にエントリーして下さる皆様へ】

※ポスター作成、発表が難しい人でも「ポスターセッション」には参加していただけます。

エントリー手続き

大会へのお申込時に、申込書の所定欄にある「ポスターを作成する」に印を入れてお手続きください。尚、グループホームではなく、ひとり暮らしをしている人も、楽しみや困っていることなどをポスターにしてエントリー出来ます。

事前準備

セッション当日、会場で行える作業時間は1時間程度です。飾り付けなどの最終工程を除いては、事前に作成作業を行っておいてください。

※模造紙(又はプラ段ボール板等)テープのり等は会場にあります。写真や紹介文を貼ったポスターを作成して下さい。

発表

ポスターを作成され、発表をしたい方は、10分間で発表が出来るようにご準備下さい。※紹介してほしいことは、「入居されているホームについて」、「自慢出来ること」、「不便なこと」、「建物の様子」、「近所にどんなものがあるか」、「一緒に暮らす仲間とはどんな人か」、「世話人・スタッフのこと」など。

プログラム(2日目)

7月12日(日)

Bプログラム 連続講座 会場:西館 テルサホール

8:30~ 9:00 受 付

9:00~ 9:30 連続講座Ⅰ「グループホームを巡る最近の制度改正」
(30分) 講 師 光増 昌久氏(グループホーム学会代表)

2015年度は3年に一度の報酬単価改定が実施されました。今回は加算の要件なども見直しがされました。2014年度に開催された厚労省の検討会でグループホーム学会が要望したことの報告を含め、現状の制度改正について、ポイントを解説します。

併せて新刊「グループホーム設置運営マニュアル」について、御紹介いたします。

9:30~10:30 連続講座Ⅱ「本当に必要な防災とは—消防法をおさえる(仮題)」
(60分) 発 題 鈴木 一朗氏(社福 ホーム塩屋)
コメンテーター 大西 一嘉氏(神戸大学)

グループホームは必要とされているのに、充分なだけ増えていません。その背景には、消防法施行令の改正も一因として考えられます。「以前に比べて新規ホームを立ち上げるのには苦労が多くなった」といわれる具体的な壁を、理解していきたいと思います。実際に様々な問題を乗り越えて開設までたどり着かれた事例を元に発題をお願いできればと考えました。

また、残された課題や、今後の留意点について大西先生より解説をしていただきます。

10:30~10:45 休 憩 15分

10:45~12:05 討 論 「地域生活支援拠点を我が地域で本当に活かすために
(80分) ~明日に向けた視座をさぐる」
登壇者 北野 誠一氏
(西宮市権利擁護支援システム推進委員会)
荒井 隆一氏(グループホーム学会副代表)
進行係 清水 明彦氏(西宮市社会福祉協議会)

12:05~12:15 次回開催地のあいさつ・閉会



【大会事務局】

「第12回日本グループホーム学会全国大会 in 京都 実行委員会」

〒612-8154 京都府京都市伏見区向島津田町182-1

社会福祉法人世光福祉会 ベテスダの家内

電話 075-602-1724 (担当 中西・松倉)

【受付旅行会社】

名鉄観光サービス株式会社 京都支店

〒600-8492 京都府京都市下京区月鉾町62

電話 075-255-2211 FAX 075-255-8511

(担当 浦谷・靱井(もみい)・岡野)

【会場略図】

(本大会)



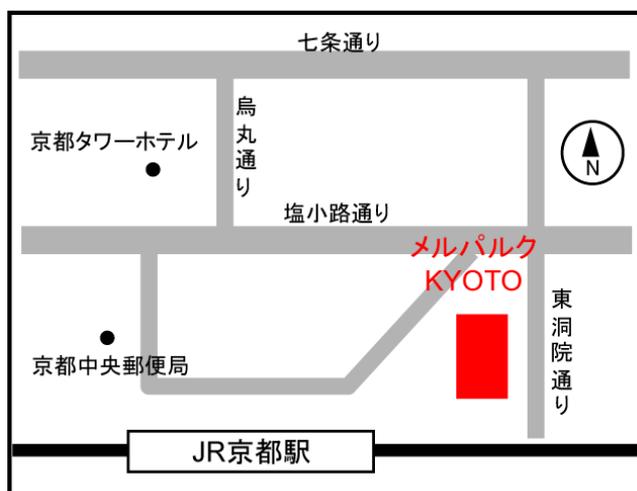
京都テルサ

(京都市南区東九条下殿田70番地)

<アクセス>

- JR京都駅(八条口西口)より南へ 徒歩約15分
- 近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
- 地下鉄九条駅④番出口より西へ 徒歩約5分
- 市バス九条車庫南へすぐ

(懇親会)



メルパルク京都

(京都市下京区東洞院通七条下ル
東塩小路町676)

<アクセス>

- JR京都駅(烏丸中央口)より徒歩 約1分
- 本大会会場(京都テルサ)より徒歩 約20分

第12回日本グループホーム学会京都大会 〈参加・懇親会・宿泊について〉

・・・・・・・・・・ 歡迎のご挨拶 ・・・・・・・・・・

謹 啓

皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、第12回日本グループホーム学会京都大会が来る7月11日（土）より2日間、京都府で開催されますことを心よりお祝い申し上げます。開催にあたり、ご参加いただく皆様方の参加申込み受付、及びご宿泊等のお世話を弊社にご用命賜り厚く御礼申し上げます。

本大会のご成功をお祈りすることはもとより、社員一同全ての面において万全の準備をいたし、皆様に心からご満足いただけますよう、一生懸命お世話させていただき所存でございます。皆様方のお越しを心よりお待ちしております。

謹白

名鉄観光サービス株式会社 京都支店
支店長 梅野 英出友

☆ お申込みについて

大会参加、宿泊等を下記の要領で申込み下さい。

なお、参加申込み締切後、分科会・ホテル等の調整後「参加券」「宿泊券」「懇親会参加券」を発送させていただきます。

また変更事項やお取消につきましては、速やかに当支店へFAXにてご連絡下さいますようお願いいたします。

【お願い】

お電話によるお申込み、変更はトラブルの原因の為、FAXまたは郵送の受付に限らせていただいております。
ご協力お願い申し上げます。

参加申込みはFAXまたは郵送にて
名鉄観光サービス(株)京都支店へ。
FAX：075-255-8511

＜申込期間＞
本要項到着後、
6月12日（金）締切

6月19日（金）頃発送予定・・・・・・・・・・

参加券・宿泊券等にあわせ、ご請求書を、直接参加者施設宛にお送り致します。

6月26日（金）までに・・・・・・・・・・

参加券等の内容をご確認の上、請求金額をお振込下さい。

入金確認の時点で、契約成立となります。

＜第12回日本グループホーム学会京都大会＞

① 大会参加会場：京都テルサ 7月11日（土）～7月12日（日）2日間

② 懇親会：会場：メルパルク京都 7月11日（土） 18時30分～20時30分

③ ご宿泊について（当社の募集型企画旅行商品です）

宿泊設定日・・・2015年7月10日（金）・11日（土）2泊
（前泊のご希望の方も、別紙参加申込書の欄にご記入下さい）

宿泊条件・・・1泊朝食付き（お一人様料金／税込）

※すべて洋室、シングルは1名、ツインは2名、トリプルは3名の利用となります。

宿泊エリア	宿泊施設名	部屋タイプ	宿泊料金 大会前日 7月10日	宿泊料金 大会当日 7月11日	申込コード
a.京都駅周辺	1. 京都第二タワーホテル	シングル	8,800円	12,000円	1-S
		ツイン	6,800円	10,000円	1-T
	2. 新都ホテル	ツイン	8,000円	13,000円	2-T
		バリアフリー ツイン	10,000円	15,000円	2-B
	3. ホテル京阪京都	シングル	10,500円	13,000円	3-S
		ツイン	7,500円	11,000円	3-T
	4. 京都センチュリーホテル	シングル	14,500円	16,500円	4-S
	5. 京都新阪急ホテル	ツイン		10,500円	5-T
6. 京都プラザホテル	シングル		9,800円	6-S	
7. 京都第一ホテル	シングル		9,800円	7-S	
b.四条烏丸周辺 (京都駅より地下鉄 2駅4分210円)	9. からすま京都ホテル	シングル		11,500円	9-S
		ツイン		10,000円	9-T
	10. ダイワロイネット ホテル京都四条烏丸	シングル		11,500円	10-S
		ツイン		10,500円	10-T
バリアフリー ツイン		13,000円	10-B		
c.烏丸御池駅周 辺 (京都駅より地下鉄 3駅6分210円)	11. 京都ガーデンホテル	シングル	10,000円	10,000円	11-S
		ツイン	8,500円	8,500円	11-T
12. ホテルギンモンド京都	シングル	10,000円	10,000円	12-S	
d.平安神宮周辺 (京都駅より市バス 約30分230円)	13. ホテル平安の森京都	ツイン	8,000円	9,500円	13-T
		トリプル	7,800円	9,000円	13-W

※宿泊案内地図は別途記載しております。

（注意）申込先着順にて、ご用意させていただきます。ご希望に添えない場合がございます。

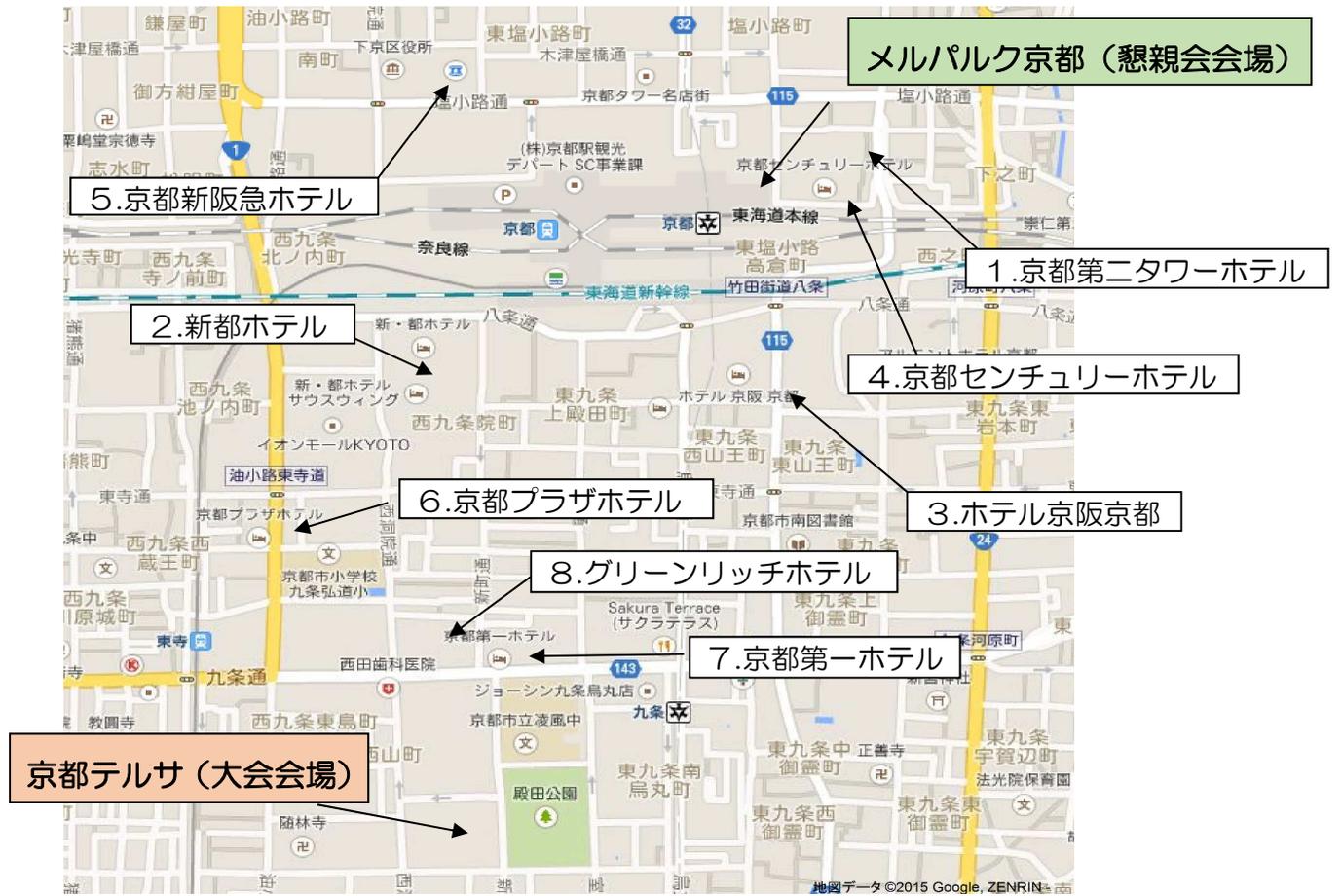
バリアフリールームは室数がかなり限られております。予めご了承下さい。

- 申込締切日・・・6月12日（金）
- 申込先・・・名鉄観光サービス(株)京都支店
(FAXまたは郵送でお申込ください)

（ご注意）大会参加についてはお申込後、6月26日（金）以降の参加取消および当日欠席は大会参加費は返金いたしません。但し、参加券を事務局へ送付の方へは大会資料を後日送付させていただきます。

<会場・懇親会・宿泊場所案内図> (各地詳細図)

a: 京都駅周辺



b: 四条烏丸周辺



c: 烏丸御池周辺



d: 平安神宮周辺



☆ オプションツアーについて

(ア) ツアー設定日：2015年 7月11日(土)

(イ) 参加料金：各コースにより設定

(ウ) 添乗員は各コース最低1名同行いたします。

A. 梅小路公園		募集人員：40名様
旅行代金 一般の方：7,000円 手帳持参の方：5,800円 同伴者の方：5,800円		
日帰り	京都テルサ====梅小路公園（蒸気機関車館・京都水族館） 13:30出発 14:00～16:30 ====京都テルサ・メルパルク京都 17:30予定	朝× 昼× 夜×

<梅小路蒸気機関車館>

本物の蒸気機関車 17形式 19両が展示保存されており、実際に動く蒸気機関車に体験乗車できる「SL スチーム号」の運転は、大変人気のイベントです。当館保存の蒸気機関車 18両※と、旧二条駅舎、扇形車庫や転車台などの施設及び付随する線路、そして梅小路運転区が所管する蒸気機関車の検修工具や車歴簿は、1つの準鉄道記念物として群指定を受けています。

※平成18年10月現在で指定された両数です。

<京都水族館>

遊びながら学ぶことのできる「エデュテインメント型水族館」をめざす京都水族館では、いのちと環境をテーマにした体験プログラムをご用意してあります。また、京の川ゾーン・かいじゅうゾーン・ペンギンゾーン・大水槽海洋ゾーン・交流プラザイルカスタジアム・山紫水明ゾーン・京の里山ゾーンと、京都水族館にはバラエティーに富んだ展示ゾーンが全9カ所あります。

B. 東映太秦映画村		募集人員：40名様
旅行代金 一般の方：7,000円 手帳持参の方：5,800円 同伴者の方：5,800円		
日帰り	京都テルサ====東映太秦映画村（体験・見学）====京都テルサ・メルパルク京都 13:30出発 14:15～16:30 17:30予定	朝× 昼× 夜×

<東映太秦映画村>

実際に時代劇で使用されるオープンセットをはじめ、屋外につくられた江戸の町の撮影用セット、時代劇や映画に関連した撮影用・展示用施設がご自由にご覧になれます。また、展示のみならず3月14日オープンの「立体迷路 忍者の砦」や「太秦トリックアートの館」など、各種アトラクションもお楽しみいただけます。（別途料金が掛かる場合がございます。）

C. 八つ橋作り体験と四条通界隈散策		募集人員：40名様
旅行代金 参加の方一律：7,000円		
日帰り	京都テルサ====八つ橋作り体験====四条通界隈散策（見学） 13:30出発 14:10～15:30 16:00～17:00 ====京都テルサ・メルパルク京都 17:30予定	朝× 昼× 夜×

<祇園・四条通（祇園祭の主となる場所）>

祇園祭とは八坂神社の祭で、毎年7月1日（吉符入）から31日（疫神社夏越祭）まで、1ヶ月にわたっておこなわれます。一般には、17日（前祭・山鉾巡行と神幸祭）と24日（後祭・山鉾巡行と還幸祭）その宵山が広く知られていますが、実に多彩な祭事がおこなわれ、7月になると鉾や山があたりで組み立て始められ、その迫りに魅了されます。

昨年は7月10日と11日まで2日間鉾建てがあり、7月12日から14日までの3日間山建てが行われました。

※各コース貸切バスでの移動です。（申し訳ございませんが、座席の指定はお受けできません）

※交通事情等により時間に変更となる場合がございます。

※最少催行人員は各コース20名様です。

ご旅行条件について

● 募集型企画旅行契約

この旅行（宿泊、懇親会、オプションツアー）は名鉄観光サービス㈱が旅行企画・実施するものであり、旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。★旅行契約の内容・条件につきましては、大会参加券類送付の際、「詳しい旅行条件書」を同封いたしますのでご確認くださいませようお願い申し上げます。

★ 契約の内容・条件につきましては、お申込前に当社の店頭またはホームページでもご確認くださいませ。

名鉄観光ホームページ（<http://www.mwt.co.jp>）⇒ご利用案内（TOPページ最下部）⇒
運営、約款、条件書等について⇒ご旅行条件書（国内・募集型企画旅行の部）

● 取消料／お客様はいつでも取消料をお支払いいただくことにより契約を解除することができます。

	14日前～8日前	7日前～2日前	前日	当日	無連絡
宿泊費・懇親会費	20%	30%	40%	50%	100%
オプション ツアー参加料金	無料	30%	40%	50%	100%

個人情報の取扱いについて

名鉄観光サービス㈱は、旅行申込の際ご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡のためや、輸送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに利用させていただき、必要な範囲内で当該機関等及び手配代行者に提供いたします。

★上記の他、当社の個人情報の取扱いに関する方針については、当社の店頭またはホームページでご確認下さい。

名鉄観光ホームページ（<http://www.mwt.co.jp>）⇒ご利用案内（TOPページ最下部）⇒
運営、約款、条件書等について⇒ご旅行条件書（個人情報保護方針、個人情報保護の対応について）

◇ 変更・取消しについて

(ア) お申込み後の変更・取消しは、FAXにて速やかにご連絡下さい。

(イ) お申込み後**6月26日(金)**以降の参加取消しの場合、参加費の返金はありません。全額ご請求となります。

(ウ) ご宿泊・懇親会・オプションツアーの取消料については、下記「ご旅行条件について」内の取消料にてご確認ください。（取消料金は宿泊日、宿泊料金、懇親会費及びオプションツアー参加料金を基準としています）。

◇ ご入金について

名鉄観光サービス㈱京都支店より参加券・宿泊券等に合わせて、ご請求書をお送りいたしますので6月26日（金）までに指定の銀行口座へご送金下さい。

<参加・宿泊等申込み先>

旅行企画・実施 **名鉄観光サービス株式会社 京都支店** 観光庁長官登録旅行業第55号
〒600-8492 京都市下京区四条通新町東入月鉾町62（住友生命京都ビル6階）
TEL 075-255-2211 FAX075-255-8511
《営業時間》 月曜日～金曜日 9:00～18:00
土・日曜、祝祭日 定休日
担当：浦谷・靱井（もみい）・岡野

